

「大阪保健医療大学紀要」執筆要領 (2019.6 学術研究委員会改訂)

- 1 本誌は大阪保健医療大学の紀要として、本学で行われた研究の成果を広く公表することを目的としている。
- 2 論文の種類は「総説」「学術論文」「事例報告」「書評・学会動向・短報・その他」のいずれかとする。論文は日本語論文のみでなく、英語論文も認める。図や表は、論文の言語に合わせる。ページ数に制限は設けない。
- 3 投稿原稿は、原則としてワープロソフト (Word) を使用し、添付の論文テンプレートを必ず用いて執筆しなければならない。文字入力の際、英数字は半角、カタカナは全角、横書き、現代かなづかい、数字は算用数字、単位は SI 単位を用いる。投稿フォーマットに従い、和英併記にて表題、著者名、所属を記し、キーワード (5 個以内)、および 300 字程度の和文要旨又は 150word 程度の英文要旨を添えること。外国語名 (地名、人名、その他) は原則として原語を用い、略語はカッコ内にフルスペルで記載する。
- 4 フォントは、見出しには MS ゴシック (大見出しは 12pt, 小見出しは 11pt, それ以下の見出しは 10pt) を用い、本文の和文は MS 明朝 (10pt) を、英文は Times New Roman (10pt) を用いる。
- 5 引用文献は引用順に列記する。文献の省略は公の省略法 (Index Medicus など) に従う。引用文献の著者氏名が 4 名以上の場合は最初の 3 名を書き、他は「・他」または「et al.」とする。

① 雑誌の場合

執筆者：題名. 雑誌名 巻：初出頁 - 最終頁, 発行年.

- 1) 石倉隆：教育研究に役立つ診療記録の工夫. PT ジャーナル 40 : 463-472, 2006.
- 2) Ishikura T: Biomechanical analysis of weight bearing force and muscle activation levels in the lower extremities during gait with a walker. Acta Medica Okayama 55: 73-82, 2001.

② 単行本の場合

著者：引用文献名. 筆頭编者 (編著書の場合)：書名, 引用頁, 発行所, 発行場所 (外国の場合), 発行年.

- 1) 石倉隆：シングルケーススタディ. 内山靖(編)：エビデンスに基づく理学療法 - 活用と思考過程の実際, pp.585 - 593, 医歯薬出版, 2008.
- 2) 石倉隆：神経系慢性期理学療法ノート, 改訂第 2 版, pp.1-25, ふくろう出版, 2003.
- 3) Kumazawa T : Progress in brain research, Vol. 113, The polymodal receptor: bio-warning and defense system. In Kumazawa T, et al.(eds): The polymodal receptor-A gateway to pathological pain, pp.3-18, Elsevier, Amsterdam, 1996.
- 4) Bork CE: Research in physical therapy, pp.235-238, Lippincott-Raven, Philadelphia, 1997.

③ 電子文献の場合

著者：引用文献名. 入手先 URL (閲覧日)

- 1) 厚生労働省：介護給付費実態調査月報.
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kaigo/kyufu/2007/01.html> (閲覧日 2007 年 3 月 29 日)

以上